



2027年3月期 第1四半期決算短信〔IFRS〕(連結)

2026年8月10日

上場会社名 株式会社ワコールホールディングス 上場取引所 東
 コード番号 3591 URL <https://www.wacoalholdings.jp/>
 代表者 (役職名) 代表取締役 社長執行役員 (氏名) 矢島 昌明
 問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 経営企画部長 (氏名) 小倉 哲 TEL 075-682-1010
 配当支払開始予定日 —
 決算補足説明資料作成の有無：有
 決算説明会開催の有無：有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満四捨五入)

1. 2027年3月期第1四半期の連結業績 (2026年4月1日～2026年6月30日)

(1) 連結経営成績 (累計) (%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前四半期利益		四半期利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2027年3月期第1四半期	48,905	8.8	1,578	△34.3	1,812	△90.8	2,608	△87.0	1,507	△89.0
2026年3月期第1四半期	44,956	△3.2	2,402	53.9	19,800	517.6	20,130	371.6	13,693	353.9

	親会社の所有者に 帰属する四半期利益		四半期包括利益 合計額		基本的1株当たり 四半期利益	希薄化後1株当たり 四半期利益
	百万円	%	百万円	%	円 銭	円 銭
2027年3月期第1四半期	1,553	△88.7	5,684	△65.6	31.41	31.38
2026年3月期第1四半期	13,707	351.2	16,526	150.5	266.25	265.49

(注) 1. 事業利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除して算出しています。

2. 2026年3月期中間連結会計期間において、企業結合に係る暫定的な会計処理の確定を行っており、2026年3月期第1四半期に係る各数値については、暫定的な会計処理の確定の内容を反映させています。

(2) 連結財政状態

	資産合計	資本合計	親会社の所有者に 帰属する持分	親会社所有者 帰属持分比率
	百万円	百万円	百万円	%
2027年3月期第1四半期	291,904	215,640	212,834	72.9
2026年3月期	292,315	212,445	209,598	71.7

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2026年3月期	—	50.00	—	50.00	100.00
2027年3月期	—				
2027年3月期 (予想)		50.00	—	50.00	100.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

3. 2027年3月期の連結業績予想 (2026年4月1日～2027年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上収益		事業利益		営業利益		税引前利益		親会社の所有者に 帰属する当期利益	基本的1株当たり 当期利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
通期	187,600	9.4	500	—	1,500	△92.5	2,600	△86.8	1,800	△86.3
										円 銭
										36.40

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無：無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における連結範囲の重要な変更：無
新規 ー社 (社名)、除外 ー社 (社名)

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更

- ① IFRSにより要求される会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)	2027年3月期1Q	52,500,000株	2026年3月期	52,500,000株
② 期末自己株式数	2027年3月期1Q	3,018,379株	2026年3月期	3,062,921株
③ 期中平均株式数 (四半期累計)	2027年3月期1Q	49,446,861株	2026年3月期1Q	51,481,838株

※ 添付される四半期連結財務諸表に対する公認会計士又は監査法人によるレビュー：無

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績予想等の将来に関する記述は、本資料の発表日現在において、当社が入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づき作成したものであり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、様々なリスクや不確実性、その他の要因により、本資料の予想と大きく異なる結果となる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P. 5「1. 経営成績等の概況 (3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況	P. 2
(1) 当四半期の経営成績の概況	P. 2
(2) 当四半期の財政状態の概況	P. 5
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	P. 5
2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記	P. 6
(1) 要約四半期連結財政状態計算書	P. 6
(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書	P. 8
(3) 要約四半期連結持分変動計算書	P. 10
(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書	P. 11
(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項	P. 12
(セグメント情報)	P. 12
(継続企業の前提に関する注記)	P. 13

1. 経営成績等の概況

(1) 当四半期の経営成績の概況

① 当第1四半期の業績

(単位：百万円)

	2026年3月期 第1四半期 連結累計期間	2027年3月期 第1四半期 連結累計期間	前年同期比	
			増減額	増減率
売上収益	44,956	48,905	+3,949	+8.8%
売上原価	18,723	20,292	+1,569	+8.4%
売上総利益	26,233	28,613	+2,380	+9.1%
販売費及び一般管理費	23,831	27,035	+3,204	+13.4%
事業利益	2,402	1,578	△824	△34.3%
その他の収益	17,452	296	△17,156	△98.3%
その他の費用	54	62	+8	+14.8%
営業利益	19,800	1,812	△17,988	△90.8%
金融収益	680	1,012	+332	+48.8%
金融費用	253	206	△47	△18.6%
持分法による投資損益（△は損失）	△97	△10	+87	—
税引前四半期利益	20,130	2,608	△17,522	△87.0%
親会社の所有者に帰属する四半期利益	13,707	1,553	△12,154	△88.7%

当第1四半期連結累計期間（2026年4月1日～2026年6月30日）の景況は、国内では、雇用・所得環境の改善を背景に緩やかな回復基調が続く、個人消費は一部耐久消費財や宝飾品等を中心に力強さがあつた一方で、インナーウェア等の需要は全体の動きから劣後しました。海外においては、米国は利上げ観測の台頭や中東情勢の緊迫化等があつたものの、堅調な個人消費を背景に景気は底堅く推移し、欧州は物価水準や金利に対する警戒感が依然として強いものの、持ち直しの動きが見られました。一方、中国は不動産市場の停滞や個人消費の横ばいを背景に景気の減速傾向が続きました。このように、当社グループを取り巻く経営環境は地域ごとにばらつきが見られました。

このような環境において、当社グループは、2027年3月期を初年度とする「中期経営計画2029」のもと、既存事業の再構築及び新価値創造の強化により収益力向上を図りつつ、成長基盤を固め、資本効率向上と両輪で中長期的な企業価値向上を目指すことを基本方針に掲げ、各種施策に取り組み始めました。

国内は、チャネル環境の変化や多様化・高度化する顧客ニーズへの対応に向け、ブランド戦略及びチャネル戦略の強化を推進しました。また、インナーウェアを軸にボディデータを活用した「エンパワーメント ソリューション」への進化に向けた取り組みを進め、「SCANBE（スキャンビー）」や「わたしに合うブラ診断」を活用した顧客体験価値の向上に努めました。さらに、コンディショニングウェアブランド「CW-X（シーダブリュー・エックス）」においてアスリート着用によるブランド認知拡大を背景とした成長加速など、トップライン拡大に向けた施策も推進しました。加えて新価値創造領域では、2026年5月に新技術の研究開発拠点として「Meloop（メループ）ラボ」を開設しました（※1）。社内外パートナーとの共創を通じて新技術の実用化・事業化を加速する役割を担い、今後はアパレル業界以外にも進出し、自動車産業資材をはじめ多様な分野への展開を推進します。海外は、地域特性に応じた事業運営を強化するとともに、直営店・ECを軸としたチャネル構造への転換を進めました。また、米国において大きなサイズ領域の強化及びD2C基盤拡充を企図して、2026年4月にECを中心とした販売を手掛けるGlamorise Foundations, Inc.（以下、Glamorise社）を買収しました（※2）。そのほか、ROIC経営の実践による事業ポートフォリオマネジメントを推進し、経営資源の最適配分を進めるとともに、資本効率の向上に向けた取り組みを継続しました。

売上収益については、米国におけるGlamorise社買収に伴う増収及び英国のBravissimo Group Limited（以下、Bravissimo社）で2025年6月に発生した火災影響の反動等もあり前年同期を上回りました。事業利益については、米国でのブランド認知向上のための先行投資や前年同期に計上した国内におけるフレックス定年制度の廃止に伴う一時的な人件費の戻し入れ等の反動により、減益となりました。なお、営業利益については、前年同期に計上した新京都ビル等の固定資産売却益（167億62百万円）の反動により大幅減益となりました。

以上の結果、当第1四半期連結累計期間の連結売上収益は489億5百万円（前年同期比8.8%増）、事業利益は15億78百万円（前年同期比34.3%減）、営業利益は18億12百万円（前年同期比90.8%減）、税引前四半期利益は26億8百万円（前年同期比87.0%減）、親会社の所有者に帰属する四半期利益は15億53百万円（前年同期比88.7%減）となりました。

なお、当該期間の為替換算レートは、1米ドル＝159.49円（前年同期144.59円）、1英ポンド＝213.97円（同193.01円）、1中国元＝23.43円（同19.99円）です。

② 報告セグメントの営業概況

当第1四半期連結会計期間から、ROICマネジメントを推進するためサプライチェーン単位に事業セグメントを再集約したことに伴い、報告セグメントの区分方法を変更しています。また、セグメント利益を従来の営業利益から事業利益に変更しています。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

（単位：百万円）

	2026年3月期		2027年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
売上収益合計	44,956	100.0%	48,905	100.0%	+3,949	+8.8%
ワコール事業（国内）	22,270	49.5%	21,817	44.6%	△453	△2.0%
ワコール事業（海外）	18,436	41.0%	22,735	46.5%	+4,299	+23.3%
ピーチ・ジョン事業	2,783	6.2%	2,897	5.9%	+114	+4.1%
その他	1,467	3.3%	1,456	3.0%	△11	△0.7%

（単位：百万円）

	2026年3月期		2027年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
事業利益（△損失）	2,402	5.3%	1,578	3.2%	△824	△34.3%
ワコール事業（国内）	604	2.7%	△275	—	△879	—
ワコール事業（海外）	1,621	8.8%	1,785	7.9%	+164	+10.1%
ピーチ・ジョン事業	11	0.4%	7	0.2%	△4	△36.4%
その他	65	4.4%	29	2.0%	△36	△55.4%
調整額	101	—	32	—	△69	△68.3%

a. ワコール事業（国内）

当第1四半期連結累計期間の国内事業は、ECチャネルが伸長した一方で、実店舗では得意先の販促施策の縮小や前年よりも気温が低く推移したことで販売が伸び悩み、全体として低調な商況となりました。

ブランド別では、「CW-X」については、スポーツ・コンディショニング需要の拡大に加え、アスリートの着用による宣伝効果を背景に、実店舗・ECとも販売が好調でした。また、高価格帯ブランド「Yue（ユエ）」は売れ筋商品の充足率向上によるリピート購入の増加等が寄与し売上が拡大しました。一方、「WACOAL（ワコール）」及び「Wing（ウイング）」は量販店得意先の販促施策縮小の影響を受け販売が低迷しました。「AMPHI（アンフィ）」は各種施策を展開したものの集客につながらず苦戦しました。チャネル別では、自社EC及び他社ECが売上を下支えし、特に他社ECは各社が開催する集客イベントに合わせた施策が奏功しました。一方、直営店や卸売チャネルでは気温低下や台風の影響もあり、販売が低調に推移しました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は218億17百万円（前年同期比2.0%減）となりました。事業損失は2億75百万円（前年同期は6億4百万円の事業利益）と減収影響に加え、前年同期に計上したフレックス定年制度の廃止に伴う一時的な人件費の戻し入れの反動等により減益となりました。

b. ワコール事業（海外）

当第1四半期連結累計期間の海外事業は、中国は不採算店舗の撤退やEC販売の苦戦により低調な結果となりましたが、米国及び欧州が伸長し、好調に推移しました。

ワコールインターナショナル（米国）は、2026年4月に買収したGlamorise社の売上が寄与し、売上収益は前年同期を上回りました。チャネル別では百貨店・専門店チャネルで販売が伸び悩んだものの、ECが売上を牽引しました。主要ECプラットフォームの販促プロモーション時期が前倒しになったことに加え、自社ECにおいて、Shopify（EC構築プラットフォーム）への切替後、UI・UXが向上し、販売が堅調に推移しました。

ワコールヨーロッパは、Bravissimo社において前年同期に発生した火災影響による売上減少の反動等もあり、前年同期を上回りました。チャネル別では英国の百貨店が低調に推移したものの、北米を中心としたEC販売が好調でした。また、Bravissimo社はEC、直営店ともに効果的なマーケティング投下が奏功し、堅調に推移しました。

中国ワコールは、販促活動の強化や商品構成の見直し等の効果により計画対比で実店舗販売は堅調に推移したものの、不採算店舗の撤退や大規模ECセール「618商戦」の苦戦などにより現地通貨ベースでの売上は低迷しました。全体としては不調に終わりましたが、為替の影響により増収となりました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は227億35百万円（前年同期比23.3%増）となりました。事業利益は17億85百万円（前年同期比10.1%増）となりました。

c. ピーチ・ジョン事業

当第1四半期連結累計期間については、前期に引き続き、国内において、新規顧客の獲得強化に重点を置いたコミュニケーション施策や商品戦略を実行した結果、直営店、自社EC、他社ECの全てのチャネルで販売が堅調に推移しました。商品面では、定番商品の「ナイスバディブラ」「盛れるノンワイヤーブラ」の販売が伸長し、販促面ではリスティング広告の投下を強化するとともに、有名タレントを起用したプロモーション等により、新規顧客獲得に繋がりました。

これらの結果、当該セグメントの売上収益は28億97百万円（前年同期比4.1%増）となりました。事業利益は、プロモーション費用増加等の影響により7百万円（前年同期比36.4%減）となりました。

d. その他

当該セグメントの売上収益は、14億56百万円（前年同期比0.7%減）と前年同期並みとなりました。事業利益は29百万円（前年同期比55.4%減）となりました。

※1 2026年5月27日付「ワコール、新技術の研究開発拠点「Meloopラボ」を開設」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20260527549567>

※2 2026年3月30日付「米国の連結子会社を通じた Glamorise Foundations, Inc. の買収（子会社等の異動を伴う株式取得）に関するお知らせ」

<https://www.wacoalholdings.jp/news/pdf.html?dn=20260320585906>

（参考）主要子会社の売上収益・事業利益（△損失）

（単位：百万円）

売上収益	2026年3月期		2027年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	構成比	第1四半期実績	構成比	増減額	増減率
ワコール	21,031	46.8%	20,557	42.0%	△474	△2.3%
ワコールインターナショナル（米国）	6,626	14.7%	8,900	18.2%	+2,274	+34.3%
ワコールヨーロッパ	8,772	19.5%	10,540	21.6%	+1,768	+20.2%
中国ワコール	1,816	4.0%	2,003	4.1%	+187	+10.3%
ピーチ・ジョン	2,783	6.2%	2,897	5.9%	+114	+4.1%

※外部売上収益のみを記載しています。

（単位：百万円）

事業利益（△損失）	2026年3月期		2027年3月期		前年同期比	
	第1四半期実績	売上比	第1四半期実績	売上比	増減額	増減率
ワコール	214	1.0%	162	0.8%	△52	△24.3%
ワコールインターナショナル（米国）	753	11.4%	661	7.4%	△92	△12.2%
ワコールヨーロッパ	789	9.0%	1,182	11.2%	+393	+49.8%
中国ワコール	△173	—	△261	—	△88	—
ピーチ・ジョン	11	0.4%	7	0.2%	△4	△36.4%

(2) 当四半期の財政状態の概況

① 資産、負債、株主資本等の状況

当第1四半期連結会計期間末における総資産は、のれんやその他の金融資産が増加したものの、現金及び現金同等物が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して4億11百万円減少し、2,919億4百万円となりました。

負債は、未払法人所得税が減少したことなどにより、前連結会計年度末に比して36億6百万円減少し、762億64百万円となりました。

親会社の所有者に帰属する持分は、その他の資本の構成要素が増加したことなどにより、前連結会計年度末に比して32億36百万円増加し、2,128億34百万円となりました。

以上の結果により、当第1四半期連結会計期間末における親会社所有者帰属持分比率は、前連結会計年度末に比して1.2ポイント増加し、72.9%となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第1四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物は、前連結会計年度末に比して124億21百万円減少し、317億49百万円となりました。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動によるキャッシュ・フローは、四半期利益15億7百万円に減価償却費及び償却費や法人所得税費用などによる調整を加えた金額に対して、資産及び負債の増減などによる調整を行った結果、23億3百万円の支出（前年同期は21億88百万円の収入）となりました。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動によるキャッシュ・フローは、子会社の取得などにより、62億29百万円の支出（前年同期は199億69百万円の収入）となりました。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動によるキャッシュ・フローは、配当金の支払などにより、39億61百万円の支出（前年同期に比し56億85百万円の支出減）となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の連結業績予想については、2026年5月14日に公表した連結業績予想から変更ありません。

2. 要約四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 要約四半期連結財政状態計算書

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
資産		
流動資産		
現金及び現金同等物	44,170	31,749
営業債権及びその他の債権	17,441	18,982
その他の金融資産	2,061	3,287
棚卸資産	51,112	52,238
その他の流動資産	4,829	4,857
流動資産合計	119,613	111,113
非流動資産		
有形固定資産	35,290	35,022
使用権資産	11,912	11,712
のれん	15,497	20,002
無形資産	11,061	10,774
投資不動産	1,601	1,601
持分法で会計処理されている投資	19,787	19,637
その他の金融資産	47,298	51,307
退職給付に係る資産	22,300	22,478
繰延税金資産	7,322	7,427
その他の非流動資産	634	831
非流動資産合計	172,702	180,791
資産合計	292,315	291,904

(単位：百万円)

科目	前連結会計年度 (2026年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2026年6月30日)
負債及び資本		
負債		
流動負債		
借入金	6,821	6,836
リース負債	4,691	4,744
営業債務及びその他の債務	12,406	12,841
その他の金融負債	825	1,164
未払法人所得税	7,218	786
その他の流動負債	13,194	12,624
流動負債合計	45,155	38,995
非流動負債		
借入金	5,443	5,547
リース負債	7,357	7,202
その他の金融負債	—	521
退職給付に係る負債	1,320	1,334
繰延税金負債	19,325	20,999
その他の非流動負債	1,270	1,666
非流動負債合計	34,715	37,269
負債合計	79,870	76,264
資本		
資本金	13,260	13,260
資本剰余金	140	35
利益剰余金	162,625	161,619
その他の資本の構成要素	49,360	53,477
自己株式	△15,787	△15,557
親会社の所有者に帰属する持分合計	209,598	212,834
非支配持分	2,847	2,806
資本合計	212,445	215,640
負債及び資本合計	292,315	291,904

(2) 要約四半期連結損益計算書及び要約四半期連結包括利益計算書
(要約四半期連結損益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)		当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)	
		%		%
売上収益	44,956	100.0	48,905	100.0
売上原価	△18,723	△41.7	△20,292	△41.5
販売費及び一般管理費	△23,831	△53.0	△27,035	△55.3
その他の収益	17,452	38.8	296	0.6
その他の費用	△54	△0.1	△62	△0.1
営業利益	19,800	44.0	1,812	3.7
金融収益	680	1.5	1,012	2.0
金融費用	△253	△0.5	△206	△0.4
持分法による投資損益 (△は損失)	△97	△0.2	△10	△0.0
税引前四半期利益	20,130	44.8	2,608	5.3
法人所得税費用	△6,437	△14.3	△1,101	△2.2
四半期利益	13,693	30.5	1,507	3.1
四半期利益の帰属				
親会社の所有者	13,707	30.5	1,553	3.2
非支配持分	△14	△0.0	△46	△0.1
四半期利益	13,693	30.5	1,507	3.1
1株当たり四半期利益				
基本的1株当たり四半期利益 (円)	266.25		31.41	
希薄化後1株当たり四半期利益 (円)	265.49		31.38	

(要約四半期連結包括利益計算書)

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
四半期利益	13,693	1,507
その他の包括利益		
純損益に振り替えられることのない項目		
その他の包括利益を通じて公正価値で測定する金融資産	2,376	2,688
確定給付制度の再測定	36	14
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	110	94
純損益に振り替えられることのない項目合計	2,522	2,796
純損益に振り替えられる可能性のある項目		
在外営業活動体の換算差額	144	1,422
持分法適用会社におけるその他の包括利益に対する持分	167	△41
純損益に振り替えられる可能性のある項目合計	311	1,381
その他の包括利益合計	2,833	4,177
四半期包括利益	16,526	5,684
四半期包括利益の帰属		
親会社の所有者	16,543	5,697
非支配持分	△17	△13
四半期包括利益	16,526	5,684

(3) 要約四半期連結持分変動計算書

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

(単位：百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2025年4月1日残高	13,260	4,311	153,808	38,636	△17,968	192,047	3,073	195,120
四半期利益			13,707			13,707	△14	13,693
その他の包括利益				2,836		2,836	△3	2,833
四半期包括利益合計	—	—	13,707	2,836	—	16,543	△17	16,526
自己株式の取得					△3,969	△3,969		△3,969
自己株式の消却		△3,834	△10,221		14,055	—		—
株式報酬取引		△197			197	0		0
配当金			△2,583			△2,583	△100	△2,683
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			110	△110		—		—
所有者との取引額合計	—	△4,031	△12,694	△110	10,283	△6,552	△100	△6,652
2025年6月30日残高	13,260	280	154,821	41,362	△7,685	202,038	2,956	204,994

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

(単位：百万円)

項目	親会社の所有者に帰属する持分						非支配持分	資本合計
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	その他の 資本の 構成要素	自己株式	合計		
2026年4月1日残高	13,260	140	162,625	49,360	△15,787	209,598	2,847	212,445
四半期利益			1,553			1,553	△46	1,507
その他の包括利益				4,144		4,144	33	4,177
四半期包括利益合計	—	—	1,553	4,144	—	5,697	△13	5,684
自己株式の取得					△0	△0		△0
株式報酬取引		△219			230	11		11
配当金			△2,472			△2,472	△28	△2,500
利益剰余金から資本剰余金への振替		114	△114			—		—
その他の資本の構成要素から利益剰余金 への振替			27	△27		—		—
所有者との取引額合計	—	△105	△2,559	△27	230	△2,461	△28	△2,489
2026年6月30日残高	13,260	35	161,619	53,477	△15,557	212,834	2,806	215,640

(4) 要約四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

科目	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
四半期利益	13,693	1,507
減価償却費及び償却費	2,866	2,801
金融収益	△680	△1,012
金融費用	253	206
持分法による投資損益(△は益)	97	10
法人所得税費用	6,437	1,101
固定資産売却損益(△は益)	△16,739	16
営業債権及びその他の債権の増減額(△は増加)	△907	△854
棚卸資産の増減額(△は増加)	525	645
その他の資産の増減額(△は増加)	△185	290
営業債務及びその他の債務の増減額(△は減少)	△1,206	246
退職給付に係る資産及び負債の増減額	△488	△168
その他の負債の増減額(△は減少)	521	△1,038
その他	△138	△839
小計	4,049	2,911
利息の受取額	88	85
配当金の受取額	1,331	1,319
利息の支払額	△144	△163
法人所得税の支払額又は還付額(△は支払)	△3,136	△6,455
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,188	△2,303
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の払戻による収入	45	1
定期預金の預入による支出	△926	△662
有形固定資産等の取得による支出	△1,264	△551
有形固定資産等の売却による収入	22,386	9
無形資産の取得による支出	△204	△139
その他の金融資産の取得による支出	△68	△376
その他の金融資産の売却及び償還による収入	11	—
子会社の取得による支出	—	△4,511
子会社の売却による支出	△295	—
その他	284	—
投資活動によるキャッシュ・フロー	19,969	△6,229
財務活動によるキャッシュ・フロー		
長期借入金の返済による支出	△1,590	—
リース負債の返済による支出	△1,404	△1,461
自己株式の取得による支出	△3,969	△0
親会社の所有者への配当金の支払額	△2,583	△2,472
非支配持分への配当金の支払額	△100	△28
財務活動によるキャッシュ・フロー	△9,646	△3,961
現金及び現金同等物に係る換算差額	△496	72
売却目的で保有する資産への振替に伴う現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,295	—
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	13,310	△12,421
現金及び現金同等物の期首残高	23,419	44,170
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,729	31,749

(5) 要約四半期連結財務諸表に関する注記事項

(セグメント情報)

(1) 報告セグメントに関する情報

前第1四半期連結累計期間（自 2025年4月1日 至 2025年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 3	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	22,270	18,436	2,783	43,489	1,467	—	44,956
セグメント間の内部売上収益	400	—	50	450	597	△1,047	—
合計	22,670	18,436	2,833	43,939	2,064	△1,047	44,956
セグメント利益 (注) 2	604	1,621	11	2,236	65	101	2,402
その他の収益	—	—	—	—	—	—	17,452
その他の費用	—	—	—	—	—	—	△54
営業利益	—	—	—	—	—	—	19,800
金融収益	—	—	—	—	—	—	680
金融費用	—	—	—	—	—	—	△253
持分法による投資損益 (△は損失)	—	—	—	—	—	—	△97
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	20,130

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Ai事業等を含みます。

2. セグメント利益は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益を使用しています。

3. セグメント利益の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

4. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

当第1四半期連結累計期間（自 2026年4月1日 至 2026年6月30日）

(単位：百万円)

	報告セグメント				その他 (注) 1	調整額 (注) 3	連結
	ワコール 事業 (国内)	ワコール 事業 (海外)	ピーチ・ ジョン 事業	計			
売上収益							
外部顧客に対する売上収益	21,817	22,735	2,897	47,449	1,456	—	48,905
セグメント間の内部売上収益	411	—	43	454	666	△1,120	—
合計	22,228	22,735	2,940	47,903	2,122	△1,120	48,905
セグメント利益 (△損失) (注) 2	△275	1,785	7	1,517	29	32	1,578
その他の収益	—	—	—	—	—	—	296
その他の費用	—	—	—	—	—	—	△62
営業利益	—	—	—	—	—	—	1,812
金融収益	—	—	—	—	—	—	1,012
金融費用	—	—	—	—	—	—	△206
持分法による投資損益 (△は損失)	—	—	—	—	—	—	△10
税引前四半期利益	—	—	—	—	—	—	2,608

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、Ai事業等を含みます。

2. セグメント利益 (△損失) は、売上収益から売上原価、販売費及び一般管理費を控除した金額である事業利益

を使用しています。

3. セグメント利益（△損失）の調整額は、セグメント間取引消去によるものです。

4. セグメント間取引は、原価に利益を加算した金額で行われています。

(2) 報告セグメントの変更等に関する事項

当第1四半期連結会計期間より、ROICマネジメントを推進するためサプライチェーン単位に事業セグメントを再集約したことに伴い、報告セグメントの区分方法を変更しています。また、セグメント利益を従来の営業利益から事業利益に変更しています。前第1四半期連結累計期間のセグメント情報については、変更後の報告セグメントの区分に基づき作成したものを開示しています。

(3) 地域別に関する情報

外部顧客に対する売上収益

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2025年4月1日 至 2025年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2026年4月1日 至 2026年6月30日)
日本	25,707	25,259
アジア・オセアニア	4,221	4,690
欧米	15,028	18,956
合計	44,956	48,905

(注) 1. 売上収益は連結会社の所在地を基礎とし分類したものです。

2. 欧米のうち、米国における前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の売上収益は、それぞれ8,174百万円及び10,948百万円であり、英国における前第1四半期連結累計期間及び当第1四半期連結累計期間の売上収益は、4,954百万円及び5,783百万円です。

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。